

令和8年度 江戸川区立松江第二中学校 学校関係者評価報告書

<p>学校教育目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すすんで学ぶ生徒</li> <li>・心の豊かな生徒</li> <li>・健康でたくましい生徒</li> </ul>	<p>目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像</p>	<p>&lt;学校像&gt;”生徒第一義の学校”・生徒一人一人の可能性を信じ、生徒の成長を第一とする学校・生徒自身の人生の基盤をつくることのできる学校・生徒が夢をもち、生徒の輝く笑顔がいつも見られる学校・生徒・保護者・地域から信頼される学校 &lt;生徒像&gt;・自分以外の多様な人を受け入れ、優しく温かい生徒・思いやりの気持ちと豊かな心を持ち、ルールを守る生徒・意欲的に学力・体力向上に努力する生徒 &lt;教師像&gt;・生徒の成長を第一とし、常に専門職としての資質・能力の向上に努める教職員・「師弟同行」を胸に刻み、胸を張って生徒指導に取り組める教職員・組織の一員として職責を十分理解し、互いに学び合い、高め合える教職員・前例踏襲にとらわれず、生徒第一義の教育活動を実践できる創造力豊かな教職員・生徒・保護者・地域の方・教職員に対しても優しく温かい対応ができる教職員</p>
<p>前年度までの本校の現状</p>	<p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重教育を基盤とした魅力ある教育活動の実践（SDGs、UD）</li> <li>・運動会、文化祭等規模を縮小せず、生徒・保護者のニーズに応えた学校行事の完全実施</li> <li>・授業改善の継続、補習・自習教室、家庭学習の推進等による基礎学力定着の向上</li> <li>・本校入学を選択する生徒数の増加（新入生推移 R7・146人、R8・116人、R8はここ数年最大11クラス。転入生一年間約10～20人は安定した生活を継続）</li> </ul>	<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習習慣の未定着への一層丁寧な対応による基礎学力向上</li> <li>・授業力向上により、応用発展学習の推進</li> <li>・不登校及び不登校傾向生徒、特別支援を要する生徒、外国籍生徒への個に応じた指導や支援の充実</li> <li>・将来の夢や目標を語る生徒の育成</li> </ul>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己（学校）評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対する学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善・・・目標の提示、学習活動の明確化（グループ活動の工夫）、振り返りの定着、ICT・タブレットの効果的活用 ・補習・自習教室の機会拡充、適切な課題提示、学習状況の把握と評価	・全国学力・学習状況調査の数値を上回る（昨年度、都平均より国語-3(+2) 数学-5(-1)、過去3年間で微上昇） ・区学力調査の数値を上回る（昨年度、全国平均より国+4 数学-1） ・生徒・保護者アンケートの「学習指導・授業工夫」の項目、高評価95%以上（昨年度93%一昨年度91%）					
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実	・宿泊行事・校外学習の事前事後学習で、探究学習成果物の完成・レベルアップ。 ・全校生徒へも呼びかけ、自主的な探究活動の増加。 ・よむよむワークシートの有効活用	・全生徒の読書科の探究活動成果物、完成 文化祭等で公開 ・生徒アンケートの「情報収集・発表力向上」の高評価94%以上（昨年度92%、一昨年度88%） ・学校公開等での作品展示の保護者高評価95%以上（数年間90%以上継続）					
	<英語力の向上>	・英語授業において、会話を伸ばす取組の継続・推進	・生徒アンケート「英語」の授業意欲・学力向上95%以上（昨年度93%） ・躊躇なく英語で会話できる環境の醸成					
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上>	・生活習慣改善の呼びかけと生活リズム・自己管理の定着 ・保健体育授業時の補強運動の継続 ・ゲストティーチャーや講演、掲示物により、スポーツに親しむ心の育成	・感冒・感染による学校・学年閉鎖なしの継続（昨年度学級閉鎖2回） ・体力テスト評価、区平均・都平均を上回る（昨年度一年生以外は都平均を上回る） ・保護者アンケートの「基本的生活習慣」の項目高評価85%以上（昨年度83%）					
不登校・い	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校生徒への対策の充実	・欠席増加（連続3日を目安）による初期対応と適切な支援、関係機関との連携 ・ステップアップルーム、エンカレッジサポーターの有効活用 ・長期休業明けのケアを特に丁寧にしていく	・不登校生徒の減少（目標15以下、昨年度末30） ・どこにもつながらない生徒をゼロに（支援委員会て随時確認、昨年度はゼロ）					

<p>実 じ め 対 応 の 充</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ案件の対応（”迅速・丁寧・共有”を合言葉に初動に重点を置く）</li> <li>・教育相談の強化</li> <li>・Hyper-QUの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別面談、SC面談等の情報共有</li> <li>・L-Gateによる日々の生徒の心身状態の把握と助言</li> <li>・HyperQUの分析による要支援・不満足群への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ案件を限りなくゼロに近づける</li> <li>・L-Gateの生徒自身の有効活用度9割以上</li> <li>・HyperQUの要支援・不満足群の改善（昨年度は全クラスとも改善）</li> <li>・保護者アンケートの「いじめ指導、問題行動解決」の項目高評価85%以上（昨年度82% - 昨年度79%）</li> </ul>												
<p>学 校 （ 園 ） の 実 現</p>	<p>地域社会に開かれた学校（園）の取組の積極的な発信&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校（園）ホームページの充実等</li> <li>・学校（園）公開の実施・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ毎日更新をめざし、適切な情報公開の実施</li> <li>・土曜授業・学校公開の年3回実施</li> <li>・保護者会等の欠席者への適切な情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者アンケートの「情報発信」の項目高評価95%以上（昨年度94%、一昨年度95%）</li> <li>・学校公開時の保護者アンケート、高評価90%以上（昨年度85%）</li> </ul>												
	<p>&lt;学校関係者評価の充実&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期ごとの生徒・保護者アンケートの実施</li> <li>・PTA役員会、学校評議員会による意見聴取</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者アンケートの「選ばれる学校づくり」の項目高評価90%以上（昨年度86% - 一昨年度84%）</li> <li>・本校への肯定的な意見、9割以上（ここ数年、批判的な意見はほぼなし）</li> </ul>												
<p>教 育 の 展 開</p>	<p>&lt;令和3・4年度 都人権尊重教育推進校の成果を継続発展&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会の考えを基盤にした、差別や偏見のない環境づくり（校内環境整備、講演会、道徳授業等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者アンケートの「人権教育推進」の項目高評価90%以上（昨年度生徒89% 保護者87%、一昨年度生徒88% 保護者82%）</li> </ul>												
<p>特 色 あ る</p>	<p>&lt;教員研修のさらなる工夫と実施&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTグループと研修グループを融合し、教員同士の力量の向上</li> <li>・個別テーマの研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度末の面接、校内研修で成果を報告、教員自己高評価8割以上、持続可能な研修への更なる助言</li> </ul>												
	<p>&lt;働き方改革の一層の推進&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の告知・呼びかけ</li> <li>・部活動時間の改変（昨年度より年間通じ18時最終下校）→生徒生活リズムの安定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外80h越え産業医面談を年間を通じゼロに（昨年度はゼロ、一昨年度2人）</li> <li>・ストレスチェックの数値をより一層低く（3年間区内上位）</li> </ul>												